

事 項	別飼い飼料給与による黒毛和種放牧子牛の発育向上技術		
ね ら い	<p>黒毛和種子牛（肥育素牛）の低コスト生産を図るには、公共牧場を活用した放牧育成が重要であるが、黒毛和種は母牛の泌乳量が少ないため、現状の放牧方法では子牛の発育が悪く、市場評価が低い現状となっている。</p> <p>そこで、公共牧場等において黒毛和種放牧子牛の別飼い飼料給与による発育向上技術について検討したところ、放牧期間中の発育成績が日増体量0.8～1.0kgと極めて良好な結果を得たので、普及に移す。</p>		
指 導 奨 励 内 容	<p>1 別飼い施設の概要</p> <p>(1) 別飼い施設はパイプハウス等の簡易な屋根付きの小屋とし、施設の周囲には足場パイプ等で親子分離柵（分離柵の間隔40～45cm、高さ115～120cm）を設置する。施設内には泥ねい化防止対策のために砂等を利用すると良い。</p> <p>(2) 施設の規模は子牛の頭数によって決定する。目安として、子牛1頭当たり1.0～1.5㎡程度、飼槽はU字溝やドラム缶等を利用する。</p> <p>(3) 設置場所は牛群が集合・休息する水飲み場等の平坦な見通しの良い場所とし、牧区はどの牧区からでも利用できるように水飲み場を中心に放射状に配置する。</p> <p>2 別飼い飼料への馴致方法</p> <p>(1) 入牧時には施設周囲に親子を集め、母牛に濃厚飼料を150～200g程度給与している間に、子牛を別飼い施設内に収容し濃厚飼料を給与して10分間程度閉じ込めておく。</p> <p>(2) その後は、定時に濃厚飼料を給与して牛群を集め、1週間程度毎日施設内外で飼料を給与することによって、別飼い飼料への馴致ができる。公共牧場は親子の入牧が随時行われるが、数回の集畜作業で飼料への馴致が可能である。</p> <p>3 別飼い飼料と給与方法</p> <p>(1) 別飼い飼料の給与は体重当たり1%を目安とするが、その全量を摂取できる月齢は生後3.5か月齢頃である。</p> <p>(2) 別飼い飼料に高エネルギーの脂肪酸Caを添加する場合は、給与飼料を十分に摂取できるようになるこの頃から2.5～5.0%添加すると効果的である。</p>		
期待される効果	別飼い飼料を給与することにより、放牧期間中の1日当たり増体量は雌子牛0.8kg、雄子牛で0.9kgを確保できるため、舎飼い並の増体量が得られるとともに、市場評価の向上につながる。		
普及上の注意事項	子牛の放牧期間は生後1か月齢以降、生後6か月齢以内とする。放牧子牛には、入牧前から別飼い飼料への馴致が望ましい。		
担 当	青森県畜産試験場家畜部肉牛担当	対 象 地 域	県下全域
発 表 文 献 等	平成10年度 青森県畜産試験場試験研究成績書		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 畜産試験場放牧地での放牧子牛の増体量及び1頭当たり濃厚飼料摂取量 (平成7～9年 青森畜試)

年次	性別 頭数	入牧時		退牧時		放牧日数	日増体量	濃厚飼料 摂取日量
		日 齢	体 重	日 齢	体 重			
7年	雄3	47.6日	68.7kg	164.6日	194.3kg	117日	1.06kg	kg
	雌2	53.5	53.5	170.5	169.5	117	0.99	0.89
8年	雄3	65.7	55.5	205.7	188.3	140	0.95	
	雌3	83.3	65.7	223.3	180.0	140	0.82	1.03
9年	雄3	49.0	56.0	203.0	231.0	154	1.14	
	雌3	45.3	48.2	199.3	191.0	154	0.93	1.11

注) 濃厚飼料給与量：各区とも体重当たり1%上限給与

表2 公共牧場での放牧子牛の増体量及び1頭当たり濃厚飼料摂取量 (平成9～10年 青森畜試)

年次	処 理 区 分	性別 頭数	入 牧 時		退 牧 時		放牧日数	日増体量	濃厚飼料 摂取日量
			日 齢	体 重	日 齢	体 重			
9年	脂肪酸Ca5.0%添加区	雄12	84.5日	89.5kg	169.8日	170.3kg	85.3日	0.95kg	kg
		雌9	65.7	77.6	154.7	147.1	89.0	0.78	0.86
	脂肪酸Ca無添加区	雄16	64.8	73.3	157.7	151.4	92.9	0.84	
		雌15	66.5	66.5	168.6	146.5	102.1	0.78	0.77
10年	脂肪酸Ca2.5%添加区	雄7	44.3	73.7	183.3	195.4	139.0	0.95	
		雌6	69.5	75.3	177.8	164.2	108.3	0.82	0.89
	脂肪酸Ca無添加区	雄20	70.5	75.3	172.3	158.4	101.8	0.82	
		雌12	79.5	77.5	180.3	154.3	100.8	0.76	0.77
7年	別飼い飼料無給与 (参考)	雄7	31.1	55.7	152.1	142.2	119.0	0.73	—
		雌3	29.3	45.0	120.7	105.0	91.4	0.66	—

注) 濃厚飼料給与量：各区とも体重当たり1%上限給与

脂肪酸Ca添加区：脂肪酸カルシウム（食用パーム油由来、TDN180%）を添加した。

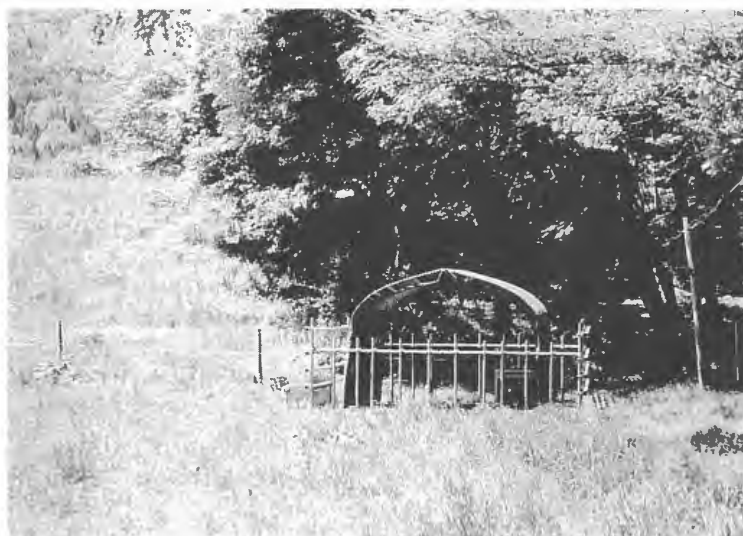


図1 別飼い施設